

## 風の流れが変わった！

### 9. 2住民監査請求提出市民集会を開催

9月2日(土)の夜、参加者は50名を越え、会場は熱気であふれました。

風の流れが変わっています。8月17日、市内全域20の商店会長が連名で、かつ1千数百名の従事者の署名をそえて、市長にイオン誘導撤回の要望書を提出しました。また、9月市議会に市条例にもとづく環境調査費(400万円)が計上されました。集会でもそれぞれの運動による具体的な変化がつぎつぎと発言されました。

一企業(イオン)だけの誘導のため、都道の一部(150メートル)を市道にしたため、本来支払う必要のない3億4500万円は不適切な支出である。市税負担の執行停止を求める住民監査請求をほとんどの参加者の署名・捺印とともに9月5日に提出します。

会では、今回の住民監査請求の他、第二次市長要請行動にむけての署名運動、イオン本社への出店中止要請、東京都に対する要請行動、ビラの全戸配布やインターネット発信の強化などを確認しました。



#### ◆商店会長連名で「イオン出店反対」要望書

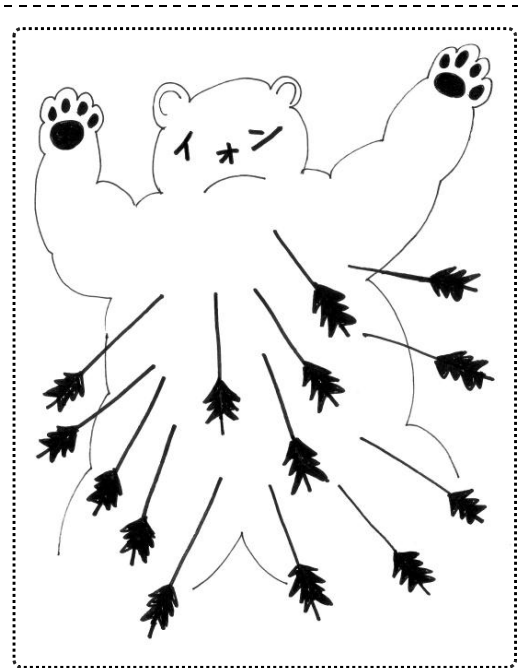
8月17日に提出された要望書から

「イオンを誘導し、税収の増加をめざしているとのことですが、従来の商業者からの税収が激減するだけでなく、地域の文化を支え、地域の安全確保に努力してきた商店街が衰退してシャッター通りと化することが容易に予測されます」「また、自動車を持つ者だけが便利な街になり、高齢化社会に相応しくない街になってしまいます」

「最悪の場合、市内の商業者が壊滅的な打撃を受けた後、イオンが事前に予想した営業利益を実現できずに撤退をすることも考えられます。この時はまさに経済的に荒廃した東久留米市になっています」

「先ごろ「改正まちづくり三法」が国会で成立したのも、大型店舗出店により地元商業が衰退する悪い流れに歯止めを掛けるものであり、東久留米市としてもその主旨は当然踏まえるべきだと考えます」

「将来を見据えた賢明なご判断により、大型店舗イオン誘導を撤回されるよう、断固要望いたします」



小さな力でもみんなががんばれば大きなクマもきつと苦(く)まるさ(イラスト おおやま)